

4 か所で共産党議員団が市政報告会

市営住宅、生活道路、避難施設など市民要望が次々と

村上かずしげ通信

発行 日本共産党市議団
2024年6月2日号



4月26日若草会館、27日愛国会館、5月10日コア鳥取、11日桜ヶ岡中央会館の4か所で、共産党議員団が市政報告会&懇談会を開催しました。18歳までの医療費無料化が11月には実施されること、市議会で「企業・団体献金禁止の意見書」が可決されたことを報告し、参加者から様々な意見をいただきました。



エレベーターのない市営住宅 どうにかできないの!?

市営住宅の「空き家」が増えていることは皆さん心配しています。でもエレベーターがなければ「いくら空いている」といっても、高齢者は4階、5階にはとても住めません。

「エレベーターがついていない市営住宅に後からつけられないの?」と質問されました。古い住宅は階段を挟んで両側のドアが向かい合っていて、フロアを貫く廊下がありません。「技術的なこともあると思うので研究してみます」と答え



ました。つけられるとしたらビッグニュースです。そのあと偶然、以前、住之江道住に住んでいた方から「私が出た後に、エレベーターが付いたんですって」

と聞きました。すぐに道住D17に行きました。玄関の前にエレベーター棟を増築、3つの玄関のうち両端にエレベーター、真



真新しいエレベーター

ん中はエレベーターにつながる廊下が新設されていました。市営住宅にも参考になるかもしれません。

市営住宅にエレベーターがついたら、みなさん、喜ばすね。



道路予算が足りない のでしょうか?

「歩道のあちこちが壊れたり、でこぼこになっています。やっぱりお金がないのでしょうか」という声もありました。「生活道路の予算が足りないのはその通りです。昨年度は駅の地下道の椅子昇降機が半年近く使えませんでした。あきらめず、ここを直してほし



いと声を上げましょう。共産党も一緒に力を合わせます」と答えました。

鉄北地域にも 津波避難施設を

「津波でこの地域はどうなるのでしょうか?」との意見は、若草会館でのこと。



美原や芦野まで行けば浸水の深さはさほどではありませんませんが、鉄北はかなり高い所に逃げないと助かりません。市内西部地域と同様に、鉄北地域にも津波避難タワーなどの整備が望まれていることが実感されました。